



国際ロータリークラブ第2620地区 2023-2024年度

RI会長 ゴードンR.マッキナリー

会長 竹田 浩富 幹事 伊原 謙治

朝霧アリーナより



竹田 浩富 会長

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
TEL.0544-23-2122 FAX 0544-23-2122 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.24 通算 1555 号 2024年2月2日(金)

ゲスト・ビジターの紹介

RI2620 地区ガバナー 中村皇積 様
〃 副幹事 前島正容 様
講演者 富士宮市PTA連合会 会長
遠藤裕美 様

入会式

1. 紹介／新入会者近藤千佳君
2. ガバナーによるロータリーバッジ装着
3. ガバナー訓辞

6. 新入会員近藤千佳君の挨拶



4. ロータリー必需品贈呈
5. 会長歓迎の挨拶



ソング

1. 国家
2. それでこそロータリー

会長挨拶 会長：竹田 浩富 君

新会員近藤千佳君に対して富士宮西ロータリークラブ会員を代表し歓迎いたします。また、本日の入会式にバッジ装着と訓辞のためにおいで下さいました RI2620 地区カバナー中村皇積様、また、ご同席いただきました同副幹事富士宮 RC 前島正容様に感謝いたします。ありがとうございました。

さて、能登半島地震を受け、静岡県と市町が連携して実施している木造住宅耐震化プロジェクト「TOUKAI（東海・倒壊）-0」に関する県民の問い合わせが増えています。

能登半島地震による犠牲者の多くが家屋倒壊による圧死で亡くなったとみられることが、県民の危機意識に影響している状況がうかがえます。2025 年度末にプロジェクトが終了するため、県の担当者は「未対応の人は早めに相談を」と呼びかけています。

このプロジェクトは1981年以前の旧耐震基準で立てられた木造住宅を対象に、市町が窓口となって無料で耐震診断を行い、耐震補強工事費も助成しています。県によると、2001年度の開始から22年度末までの耐震補強助成件数は累計2万6548戸に上り、耐震化率は89.3%（18年度時点）。

無料診断は24年度、耐震補強工事費助成は25年度で終了する予定で、県は25年度末までに累計3万戸、耐震化率95%を目指しています。

ただ、跡取りがいない、資金がないなどの理由で耐震化に消極的な高齢者世帯が多く、助成件数は頭打ちになりつつありました。

しかし、能登半島地震を受け、県民の意識に変化が表れています。私も年間20戸から25戸くらいの耐震設計を行っており、今年度はもう終わり聞いていましたが、お正月過ぎから急に件数が増え始め、私だけで9件の調査に行ってきました。その中の半数以上が耐震補強を希望しています。市では「被災地の映像を見て不安になった人や、自宅の改修を考えていた人の背中を押したのでは」と指摘しています。プロジェクトは国、県、市町が事業費を負担して実施しています。無料診断の申し込みが今後も増えることを見据え、複数の自治体から県費負担の増額を要望する声も上がっています。県建築安全推進課の担当者は「極力要請に応えられるようにしたい」と話し、「今こそ、住宅の倒壊から命を守る対応を講じてほしい」と強調しています。

幹事報告 幹事 伊原 謙治 君

*別紙幹事報告参照

*本日午後6時ごろより「宝」を会場に両クラブ共催の懇親会を開きますのでご出席下さい。

*能登半島地震に対する当クラブとしての義援金支援ですが、会員一名当たり1万円に加えて、クラブの会計の予備費から30万円+アルファを加えて計50万円として2620地区に送金します。

*「夫人誕生日」を「配偶者誕生日」に名称変更。

*3/30(土)IMへの参加者は今月中に登録して下さい。

出席報告

欠席者：早川英寿君 宇佐美量三君 仲亀秀樹君 外木規之君※

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	21	20	18	4	0	90.07%

本日のお祝い

結婚記念日 外木規之君 S47.2.6

配偶者誕生日 渡邊奈津実君の夫勲さん S55.2.2

スマイル

○中村皇積カバナー、我がクラブの新会員近藤千佳君の入会式にお立ち合い下さいまして有難うございます…竹田広富君

○新会員近藤千佳君ご入会おめでとう。本日の講演者遠藤裕美様よろしくお祈いします…若林眞治君

○近藤千佳君、これから一緒にロータリーを楽しみましょう…岡村吉彦君

○新会員近藤千佳君を歓迎いたします。我等の仲間によろこそ！…赤池次郎君

○新会員近藤千佳君、久しぶりの女性会員の入会歓迎いたします…後藤憲治君

○大事な大事な檀那さまのお誕生日です。腕時計をプレゼントさせていただきました…渡邊奈津美君

○70代にさようなら…遠藤壽男君

本日のイベント

青少年奉仕委員会担当

講演 テーマ「市P連の活動について」
富士宮市PTA連合会会長 遠藤裕美 様

本日は富士宮市PTA連合会、ならびに活動の現状に関してレポートし、これからの課題についてお話しします。

まずは、当クラブにおかれましては、市P連の活動

の一つの「推薦図書 課題本の寄贈」の事業に関して感謝申し上げます。今、子どもたちは本を読むという学習習慣が減退している中、親とともに本を読むことの大切さにご理解いただき、連年、この事業をロータリーの社会貢献事業として行っていただいています。

私は山形県出身で小学校の時に来宮いたしました。PTA 活動に参画してのべ 18 年になります。過去 10 年間は会長職を努め、昨年、連合会の会長になりました。

次年度には交代しますが、次期も女性が会長となる予定です。富士宮市として女性が活躍できる社会にしたいという方針にしたがったものです。

さて、時代の変化とともに、さまざまなおこころに変化があり、それらへの対応に迫られることが多いといえます。「学校のありかた」、「生徒のありかた」、そして、「親／保護者のありかた」という 3 つの観点から、変革とそれに対する現実的な対応が考えられなければならないということです。

とにかく、正答はありません。しかし、どうすれば子どもの成長に繋がるかを考える必要はあります。

一つは生徒が少なくなって学校を統合しなければならなくなった場合の子ども一人ひとりへの対応です。例えば、栗倉小学校は生徒数 6 名で、これ以上の存続は難しく、統合することになったのですが、校舎を今すぐに解体することはやめて、今の小学生が卒業するまでは残しておこうということにしました。また、スポーツ・文化活動においても子ども自身のやりたいことを無碍に奪うこともできませんので、民間のスポーツ組織に編入するなどのサービスを行っています。しかし、その結果、練習量から来る実力差が生まれるなどの問題も生じることになります。

親／保護者世代にも教育に関する意識の変化があ

り、本来、「しつけ」は家庭で行うものであるところながら、それを学校に期待する割合がさらに増えています。また、「虐待」という観点から、教師が行った指導、あるいは子どもの安全のための処置が「体罰」として保護者から指摘されることもあります。教師からは「もっと教師を信頼して欲しい」という要望が出され、PTA は学校と家庭の中間にたって相互理解の橋渡しをするということになるケースが増えていると思います。

コロナパンデミックの期間、リモートでの教育という方法が普及しました。それはそれで意味のあることですが、現在 5 類となった今も、コロナあるいはインフルエンザで休むということがあった場合、子どもは家庭にいてリモートで授業を受けることとなります。しかし、これが家庭の負担になることもあります。また、子どもがライブで先生と仲間とふれあうという機会を奪われていることになり、人のふれあいという心の教育上問題がないとは言えません。

今、国が進める新しい社会的試みとしての「コミュニティ・スクール」(地域支援センター)が本格的に導入されています。保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組みや考え方を有する形態のことです。これと従来の PTA がどう関連するかという問題もあります。コミュニティ・スクールはあくまでも地域の自主的な活動体であり、有志によるボランティアによって運営されているもので、活動のための公的な経済的支援もありません。もちろん、PTA にも問題があり、PTA 不要論があることも知っています。当面は、PTA とコミュニティ・スクールがお互いの利点を活かして相補的な協力関係でことをすすめるということになると思われます。違いはあっても、あくまでも、子どもの期待に応え、健全育成という目的においては同じであるという意味のおいてです。

